

# 2023年度決算説明会

2024年5月27日

石原産業(株)

URL <https://www.iskweb.co.jp>

<お問い合わせ先>  
取締役常務執行役員  
財務本部長 川添 泰伸

1. 2023年度 決算概要

2. 2024年度 業績予想

3. 事業別 業績概要

4. 付属資料

# 2023年度 決算概要

為替レート	2022実績	2023実績
(円/USD)	134.7	145.6
(円/EUR)	140.7	157.0

# 2023年度 決算概要

- ◆2023年度実績は、前期に比べて増収増益
- ◆直近の配当予想60円/株を70円/株に増配する議案を定時株主総会へ付議

(億円)

	2022 (実績)	2023 (実績)	増減
売上高	1,312	1,384	72
営業利益	86	114	28
経常利益	103	148	45
純利益	69	79	10
配当 (円/株)	42	70	28

2023予想 (2023年11月)	差異
1,380	4
100	14
110	38
80	△0
60	10

# 2023年度 事業別売上高・営業利益

## <有機化学事業>

- ◆ 農薬はブラジルの在庫調整の影響で殺菌剤の販売が落ち込んだものの、欧州ではアフリカでの害虫発生などにより殺虫剤の需要が増加。アジアや国内販売も堅調に推移したことや、円安の効果も加わり、農薬全体では増収増益。
- ◆ 動物用医薬品などのヘルスケア事業は前期を上回る売上高となった。

## <無機化学事業>

- ◆ 機能性材料の売上は電子部品材料が在庫調整の影響などがあつたもののほぼ前期並み。
- ◆ 酸化チタンは建築用途向けの需要低迷や、アジア市況低迷の影響などもあつたが、前期実施の価格改定の寄与や円安により増収。
- ◆ 稼働率の低迷などでコストが増加したものの、原料価格高騰に伴う価格改善の取り組みが寄与し増益。

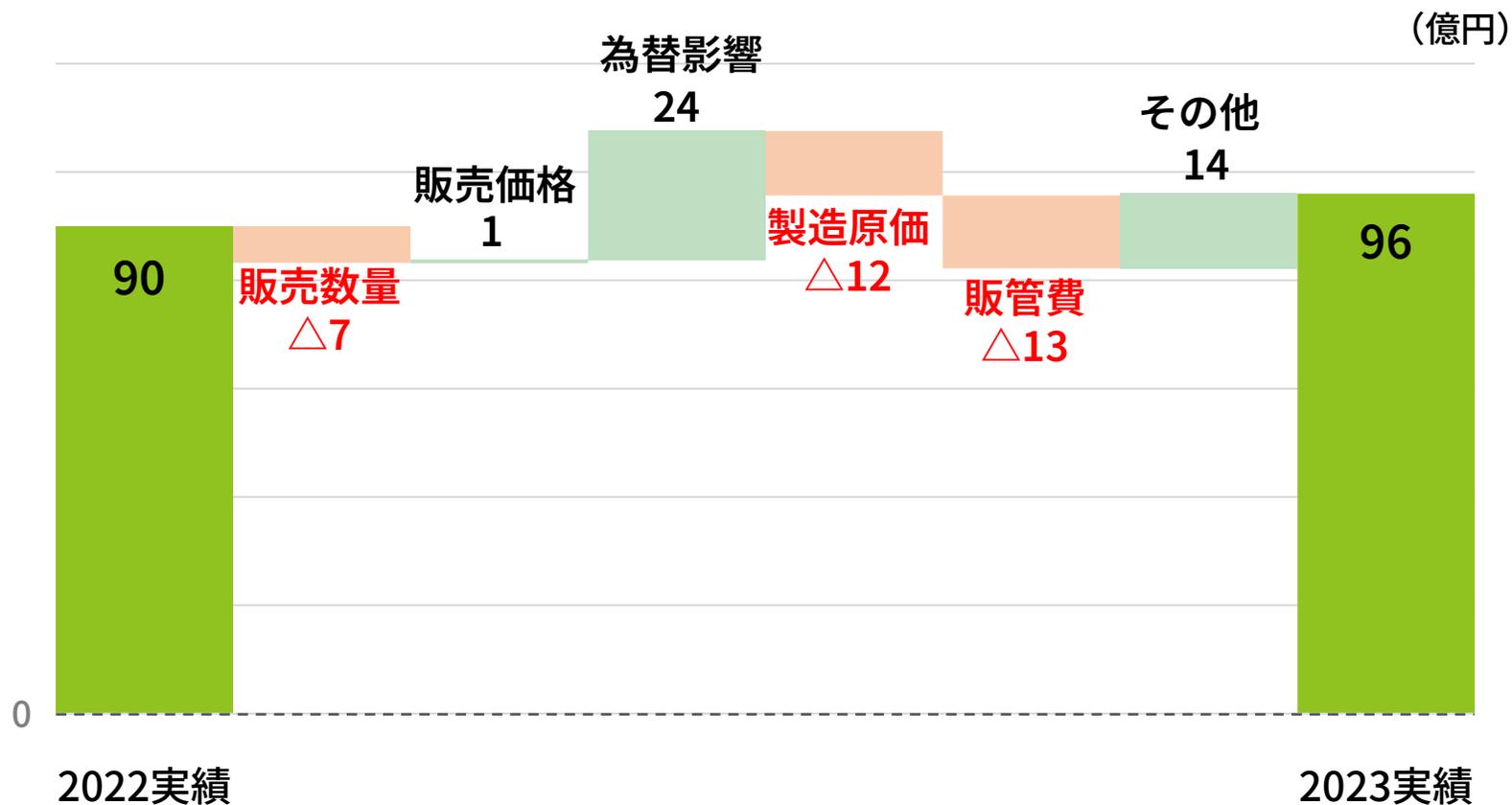
(億円)

		2022 (実績)	2023 (実績)	増減
有機化学事業	売上高	637	671	34
	営業利益	90	96	6
無機化学事業	売上高	644	680	35
	営業利益	△6	15	21
その他	売上高	29	32	2
	営業利益	2	2	0
合計	売上高	1,312	1,384	72
	営業利益	86	114	28

# 有機化学事業 営業利益増減要因

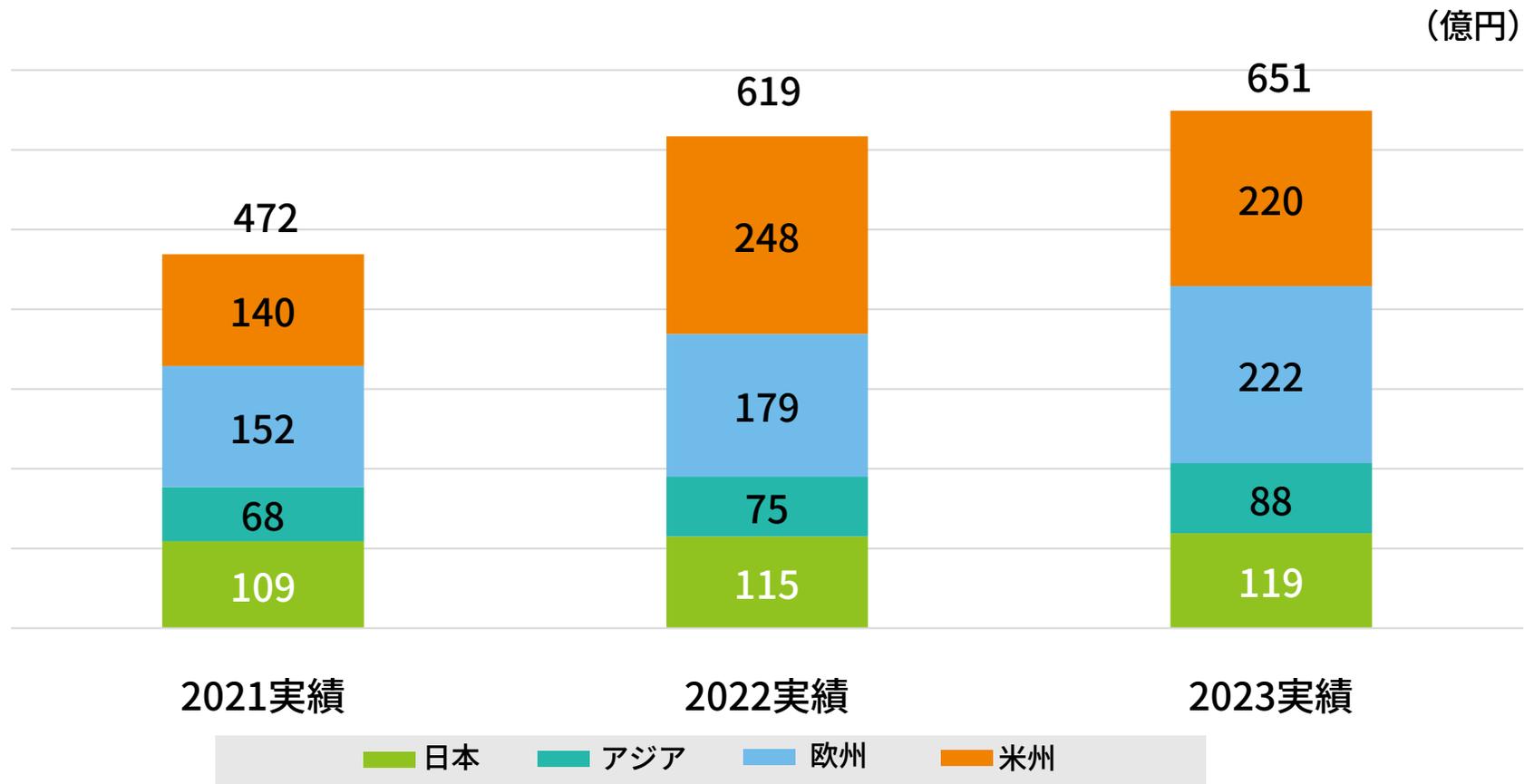


- ◆ブラジルでは在庫調整の影響で、殺菌剤が減収となったものの、欧州ではアフリカでの害虫発生などにより殺虫剤の需要が増加
- ◆製造原価や研究開発費等が増加したものの、円安の効果もあり増益



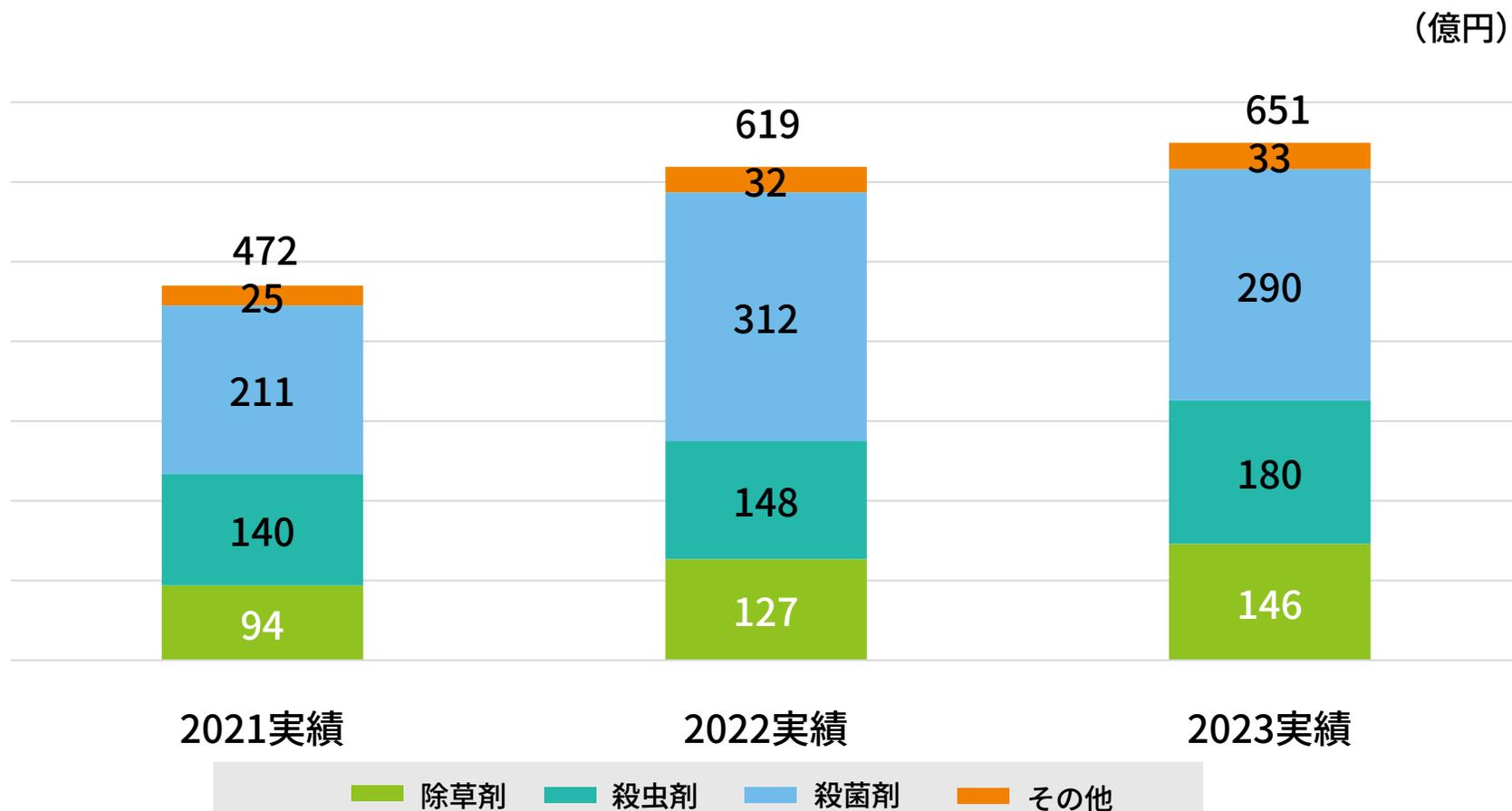
# 農薬 地域別販売実績

- ◆米州はブラジルでの在庫調整の影響で殺菌剤が減収
- ◆欧州はアフリカでの害虫発生などにより、殺虫剤の需要が増加
- ◆アジアや国内販売も堅調に推移



※アジアには大洋州を含む。

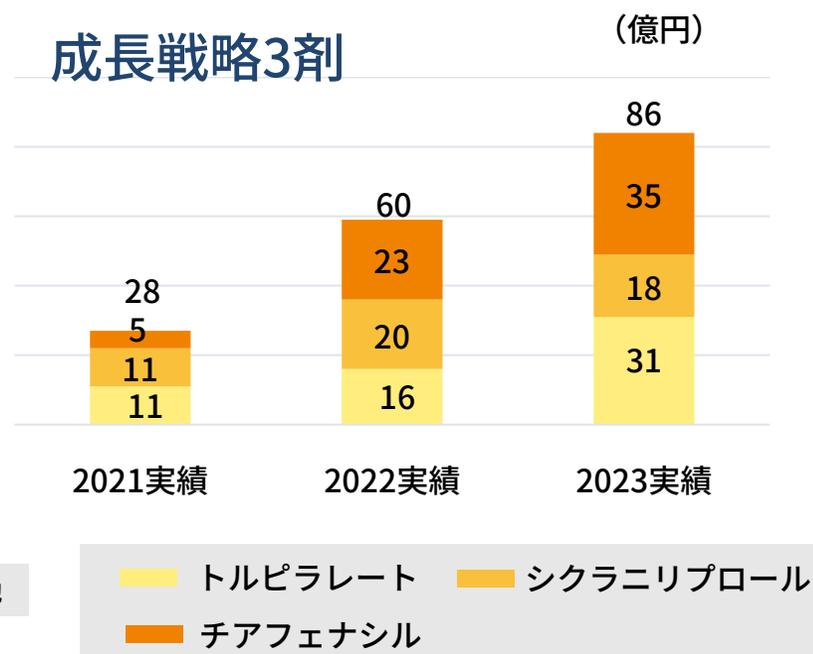
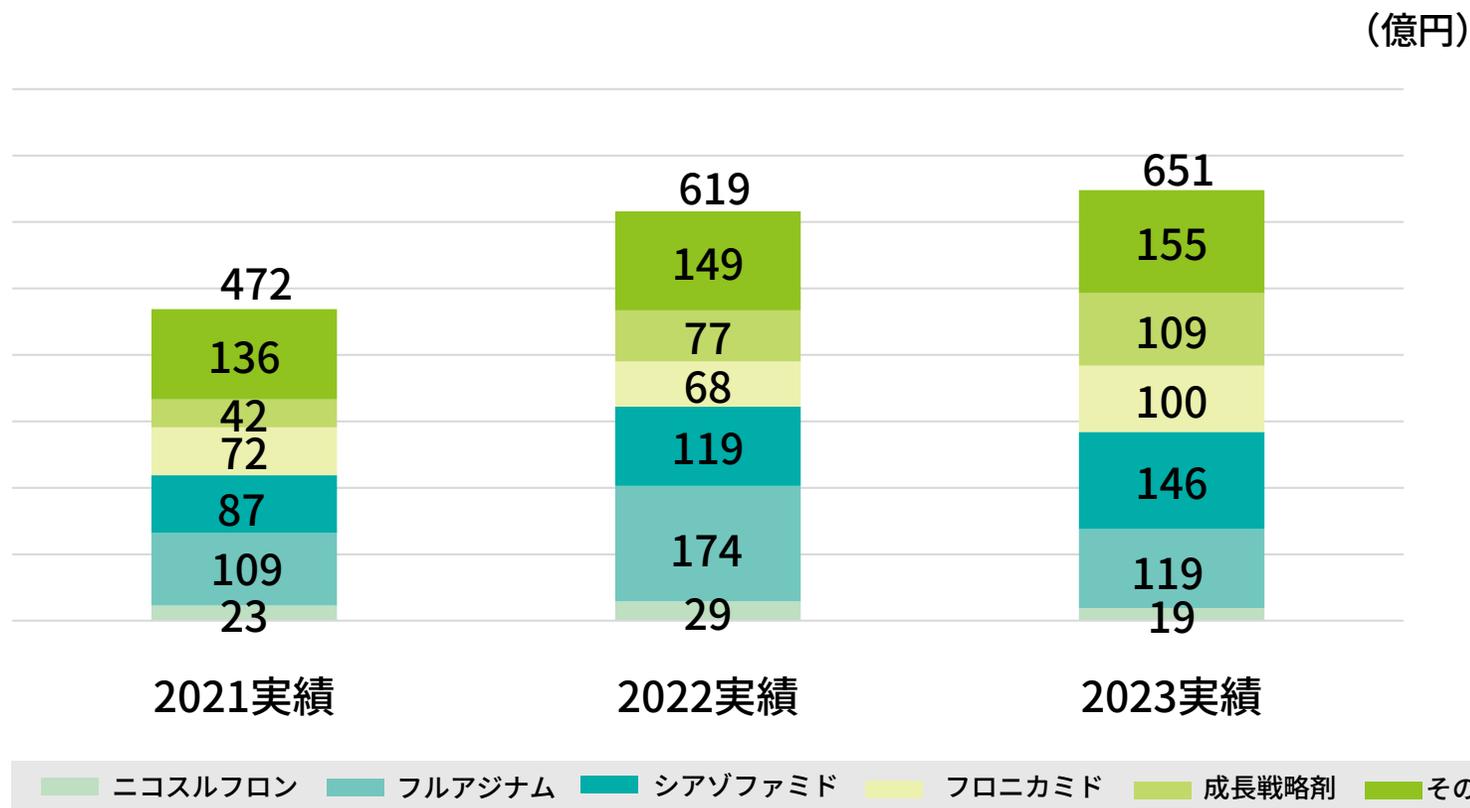
# 農薬 用途別販売実績



# 農薬 剤別販売実績

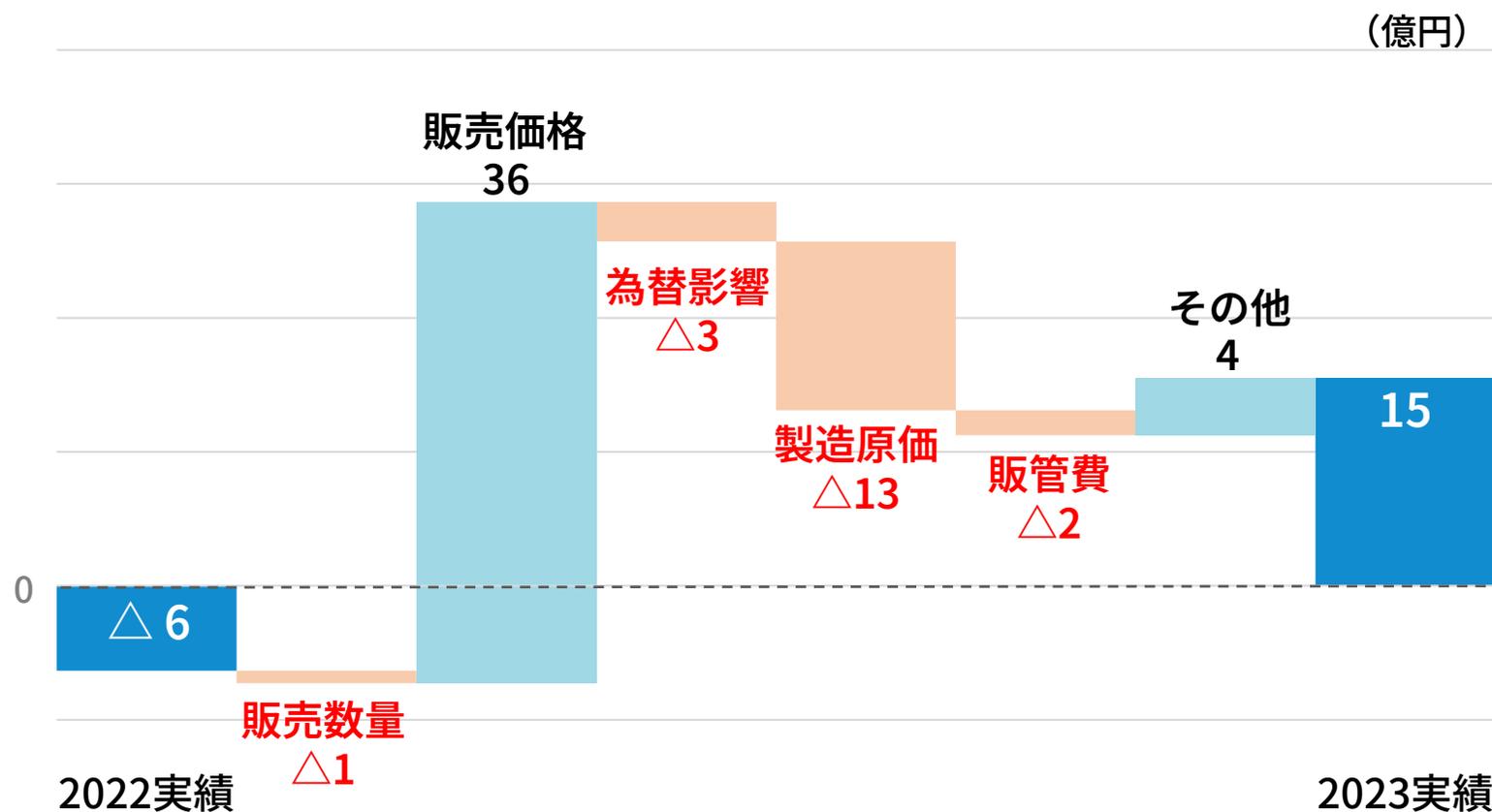


- ◆殺菌剤フルアジナムはブラジルの在庫調整の影響などにより減収
- ◆殺虫剤フロニカミドが欧州/アフリカなどで需要増加
- ◆成長戦略3剤は除草剤が伸長



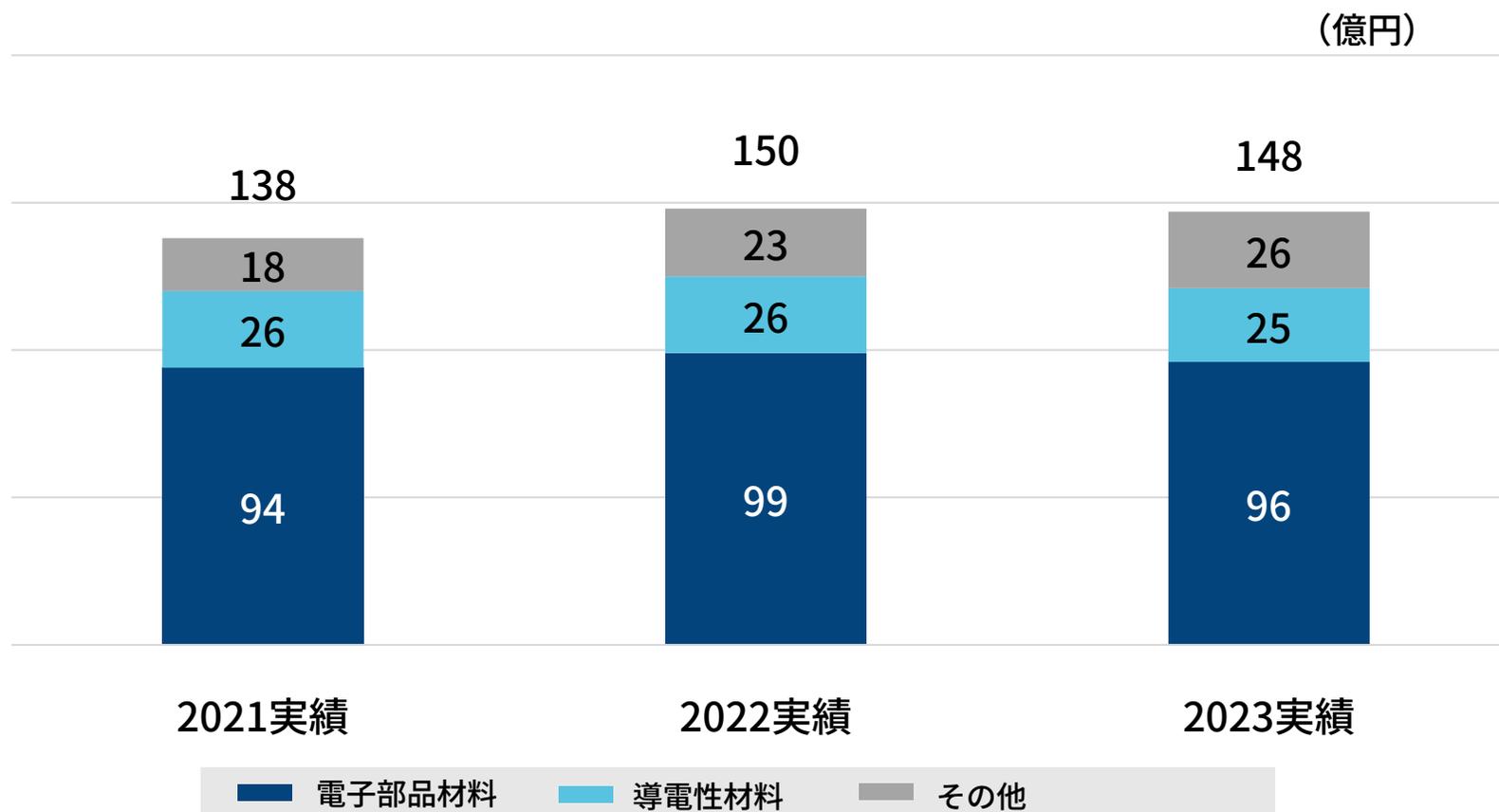
# 無機化学事業 営業利益増減要因

◆前期実施した価格改定の通年寄与が、コスト増を吸収し黒字化



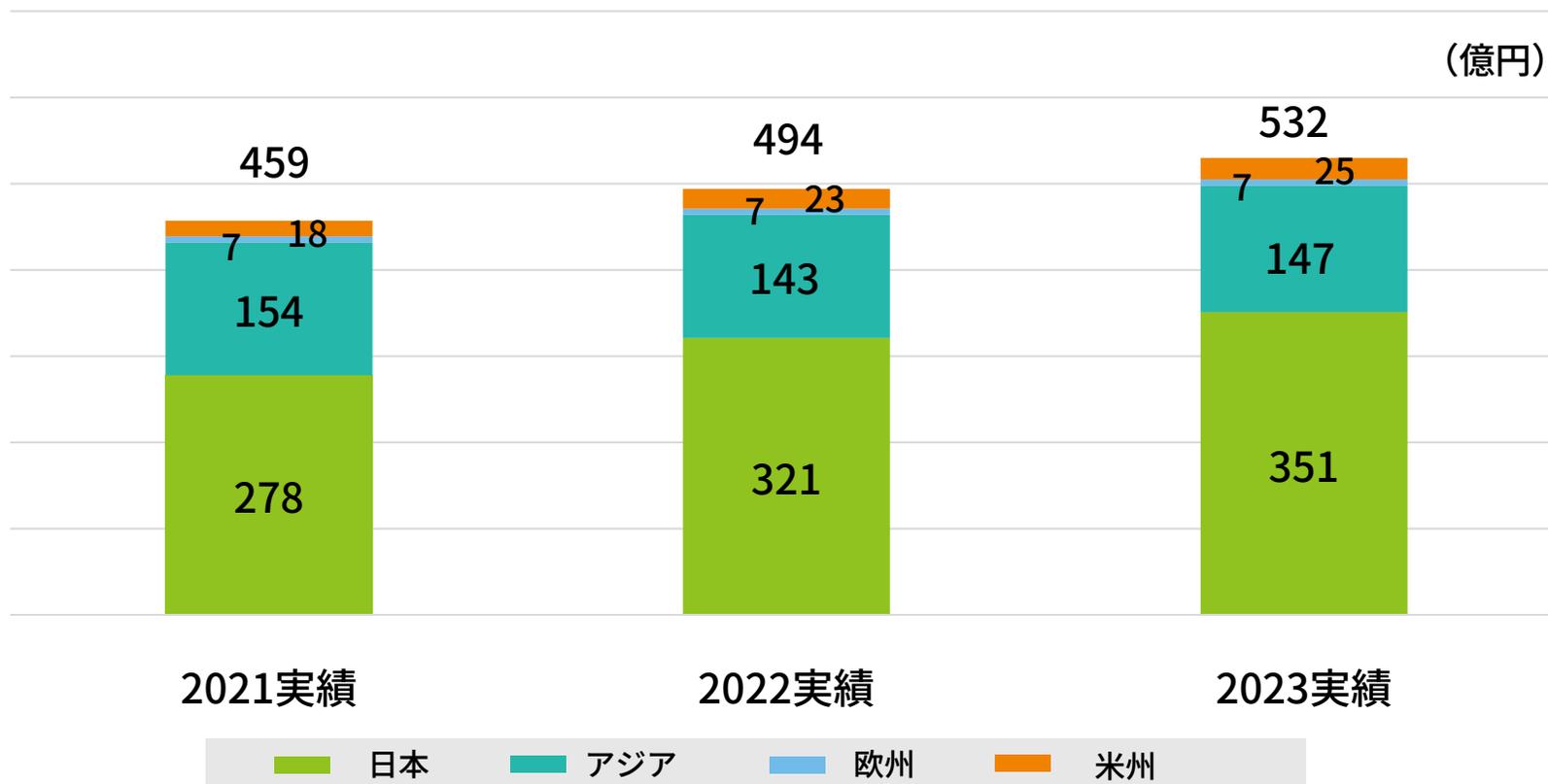
# 機能性材料 材料別販売実績

◆電子部品材料が在庫調整の影響で微減



# 酸化チタン 地域別販売実績

◆自動車向けの回復や、価格改定及び円安により増収



# 営業外損益・特別損益

## <営業外損益>

- ◆為替が円安基調で推移し、為替差益が増加

(億円)

科目	2022 (実績)	2023 (実績)	増減
金融収支	△2	△1	0
為替差損益	14	26	11
持分法利益	6	5	△0
その他	△1	3	4
合計	17	33	16

## <特別損益>

- ◆無機化学事業の構造改革に伴う固定資産減損損失67億円を計上

(億円)

科目	2022 (実績)	2023 (実績)	増減
固定資産処分損	△8	△5	3
減損損失	△0	△69	△69
受取和解金	—	20	20
その他	0	0	0
合計	△8	△53	△44

# 2023年度末 貸借対照表

- ◆当期末総資産は、前期末比+224億円の2,243億円。現預金が+23億円、棚卸資産が+165億円、売掛債権が+45億円、有形固定資産が△51億円などによるもの。
- ◆有利子負債は前期末比+142億円の703億円。
- ◆純資産は、利益剰余金が前期末比+63億円などにより+86億円の1,061億円。

(億円)

科目	2023年 3月末	2024年 3月末	増減	科目	2023年 3月末	2024年 3月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>1,374</b>	<b>1,611</b>	<b>236</b>	<b>負債</b>	<b>1,044</b>	<b>1,182</b>	<b>137</b>
現預金	176	199	23	買掛債務	240	229	△10
売掛債権	399	444	45	有利子負債	560	703	142
棚卸資産	747	913	165	引当金	23	15	△7
その他	51	53	2	退職給付に係る負債	121	120	△1
<b>固定資産</b>	<b>644</b>	<b>631</b>	<b>△12</b>	その他	98	113	14
有形固定資産	467	415	△51	<b>純資産</b>	<b>974</b>	<b>1,061</b>	<b>86</b>
無形固定資産	13	20	6	株主資本	954	1,019	64
投資その他資産	162	195	32	その他	19	41	22
<b>資産合計</b>	<b>2,019</b>	<b>2,243</b>	<b>224</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,019</b>	<b>2,243</b>	<b>224</b>

# 2023年度末 キャッシュフロー計算書

(億円)

◆棚卸資産の増加などで営業キャッシュフローが△28億円となり、フリー・キャッシュフローは△98億円。

	2022 (実績)	2023 (実績)	増減
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>△ 60</b>	<b>△28</b>	<b>32</b>
税金等調整前当期純利益	94	95	0
減価償却費及びその他償却費	53	53	△0
減損損失	0	69	69
運転資金等	△ 188	△236	△47
法人税等支払額	△ 20	△9	11
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△ 50</b>	<b>△70</b>	<b>△20</b>
固定資産の取得・売却	△ 45	△55	△9
投資有価証券の取得	△ 0	△0	0
投融資資金等	△ 4	△14	△10
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>10</b>	<b>115</b>	<b>104</b>
借入金・社債増減等	44	131	86
自己株式純増減額	△ 20	△0	19
配当金支払額	△ 14	△16	△1
現金及び現金同等物に係る換算額	5	6	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 94	23	117
現金及び現金同等物の期末残高	176	199	23

# 2024年度 業績予想

為替レート	2023実績	2024予想
(円/USD)	145.6	148.0
(円/EUR)	157.0	158.0

# 2024年度 業績予想

- ◆2024年度予想は、前期に比べて増収減益
- ◆前期に比べて研究開発費等の費用が増加する見通し

(億円)

	2023 (実績)	2024 (予想)	増減
売上高	1,384	1,440	55
営業利益	114	100	△14
経常利益	148	90	△58
純利益	79	60	△19

# 2024年度 業績予想（事業別売上高・営業利益）

（億円）

## <有機化学事業>

- ◆ 農薬の販売がジェネリック品等との競合で、一部の剤の売上が前期を下回る見込み。
- ◆ 動物用医薬品などのヘルスケア事業の売上は、前期を上回る見込み。
- ◆ 研究開発費等が増加し、利益を圧迫。

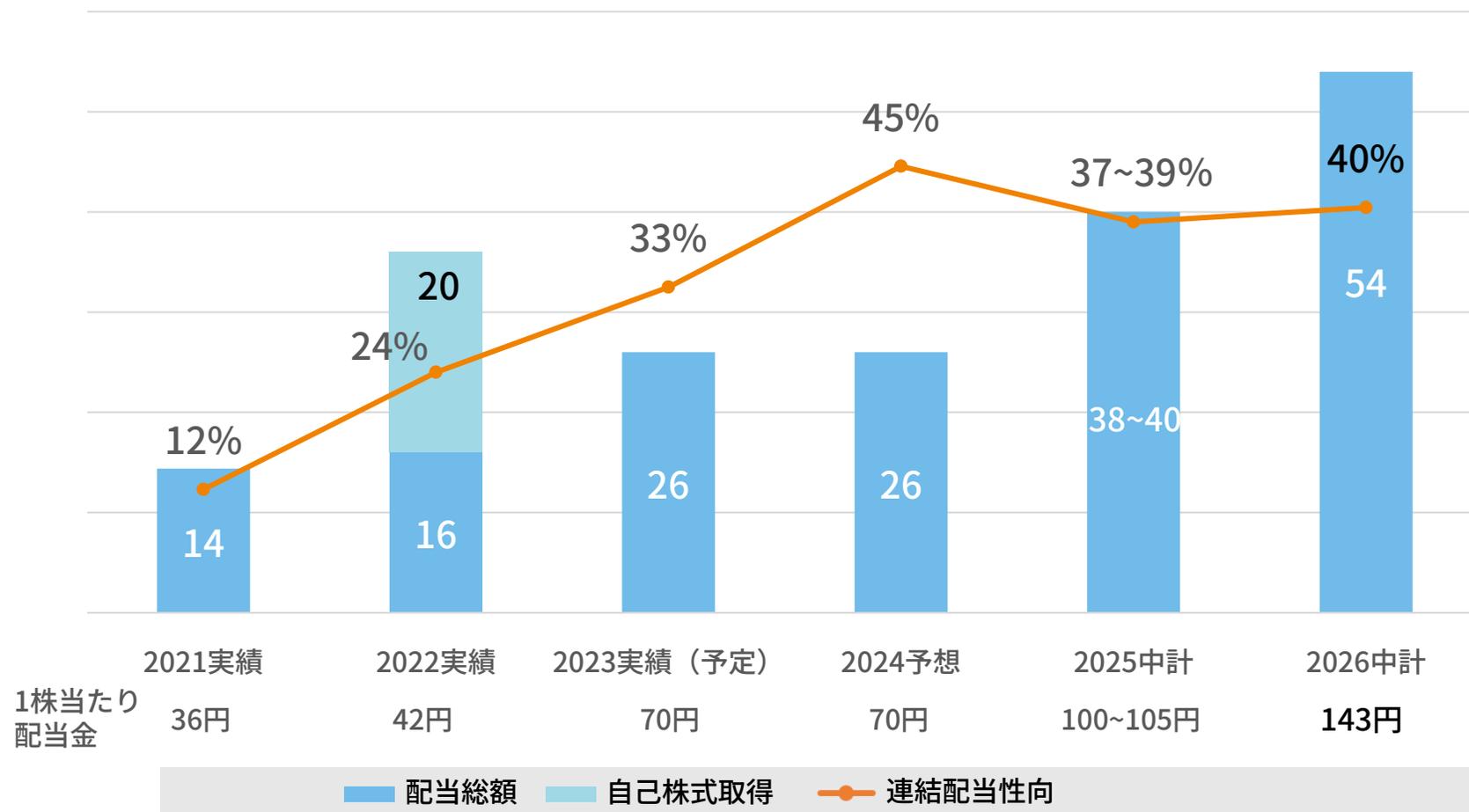
## <無機化学事業>

- ◆ 機能性材料は電子部品材料の販売が緩やかに回復する見通し。
- ◆ 酸化チタンは自動車向けを中心に国内需要は堅調に推移し、海外では拡販に取り組む。
- ◆ 在庫調整のため稼働率が低下するなどコストが増加し、減益の見通し。

		2023 (実績)	2024 (予想)	増減
有機化学事業	売上高	671	651	△20
	営業利益	96	92	△4
無機化学事業	売上高	680	756	75
	営業利益	15	6	△9
その他	売上高	32	32	△0
	営業利益	2	2	△0
合計	売上高	1,384	1,440	55
	営業利益	114	100	△14

# 株主還元方針

◆最終年度に向けて連結配当性向40%を目標とする。



## 株主還元方針

- 業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案して業績に応じた安定的な配当の継続に努める。
- ①
  - ② 最終年度（2026年度）に向けて連結配当性向40%を目標とする。
  - ③ 機動的な自社株買いを行う。

	2022 (実績)	2023 (実績)	2024 (予想)
1株当たり当期純利益 (円)	175.7	209.2	157.1
自己資本利益率 (ROE)	7.3%	7.9%	5.6%
総資産営業利益率 (ROA)	4.5%	5.4%	4.4%
売上高営業利益率	6.6%	8.3%	6.9%
自己資本比率	48.3%	47.3%	47.9%
借入金依存度	27.8%	31.3%	31.5%

---

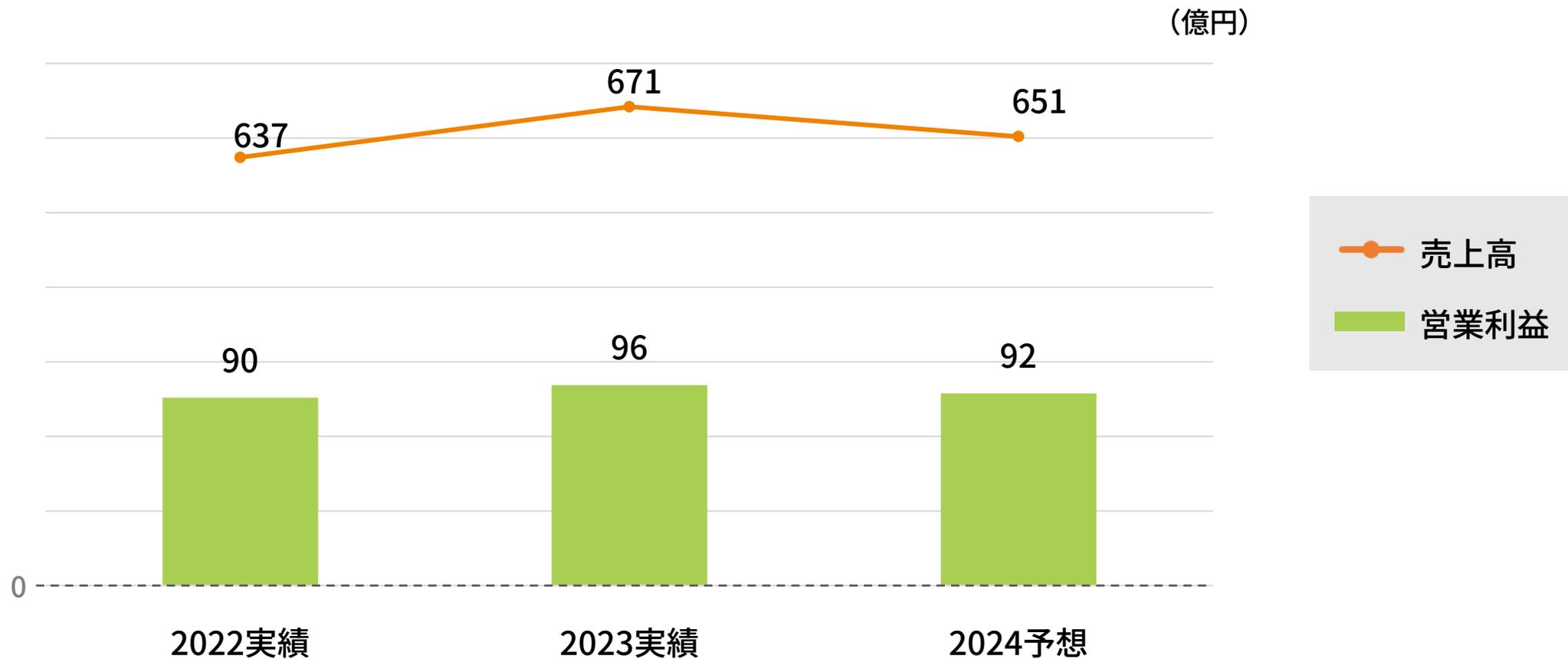
# 事業別 業績概要

---

# 有機化学事業 業績計画

有機化学事業

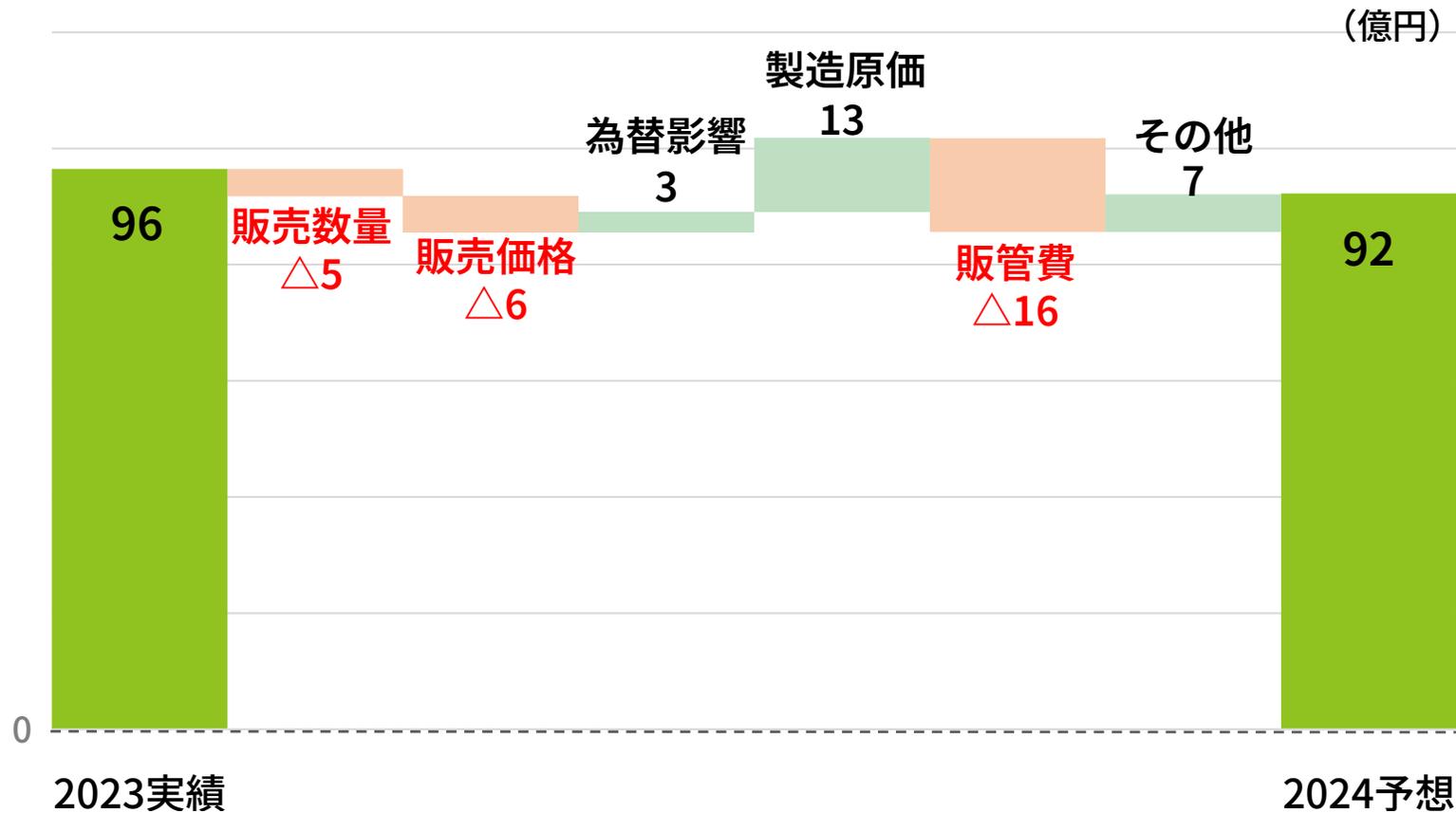
- ◆欧米で農薬の一部の剤がジェネリック品等との競合で減収の見込み
- ◆研究開発費等の経費増加で利益を圧迫



# 有機化学事業 営業利益増減要因

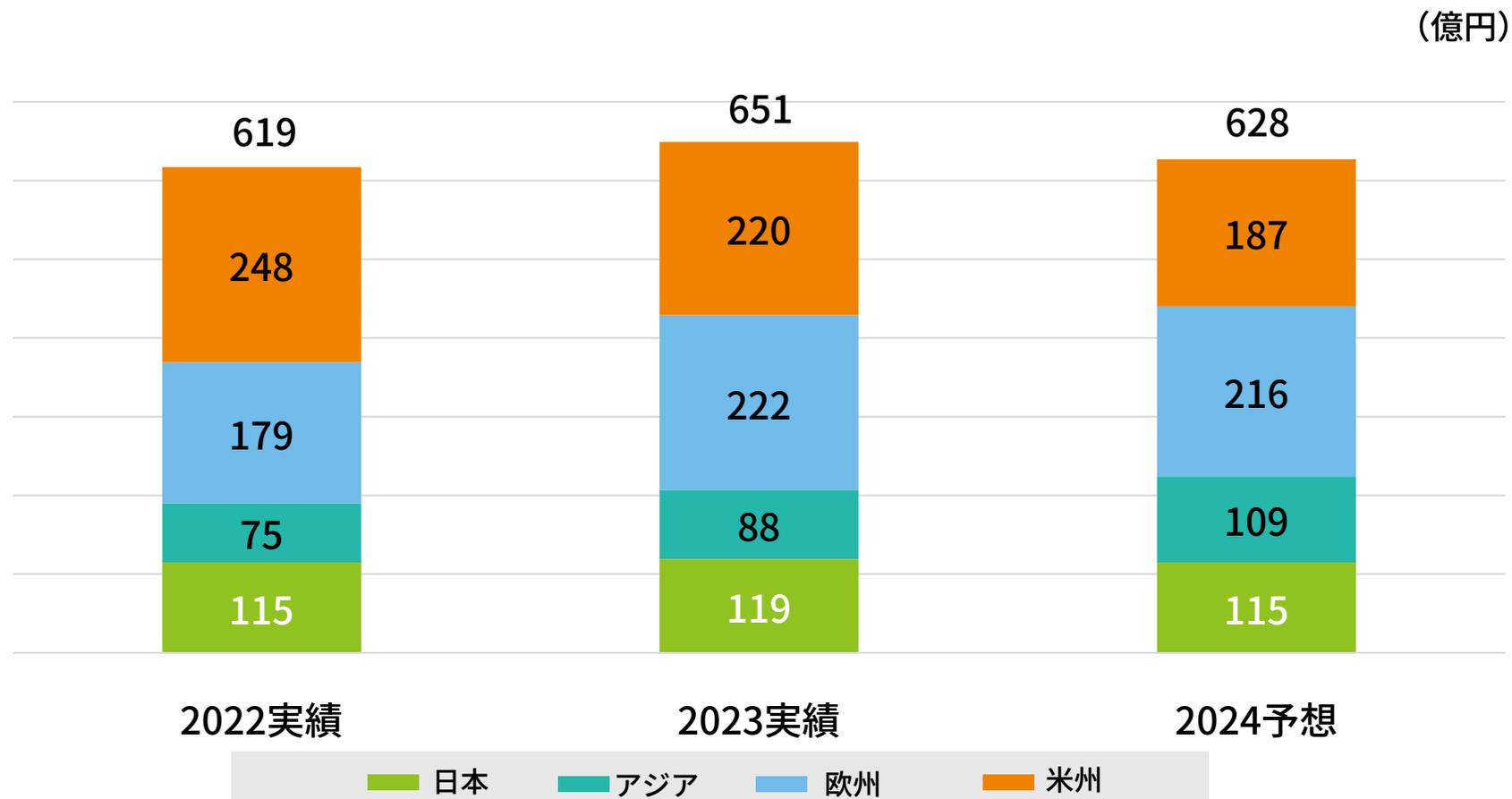


- ◆農薬の一部の剤がジェネリック品等との競合で減収の見込み
- ◆コストの改善を見込むが、研究開発費等が増加し利益を圧迫



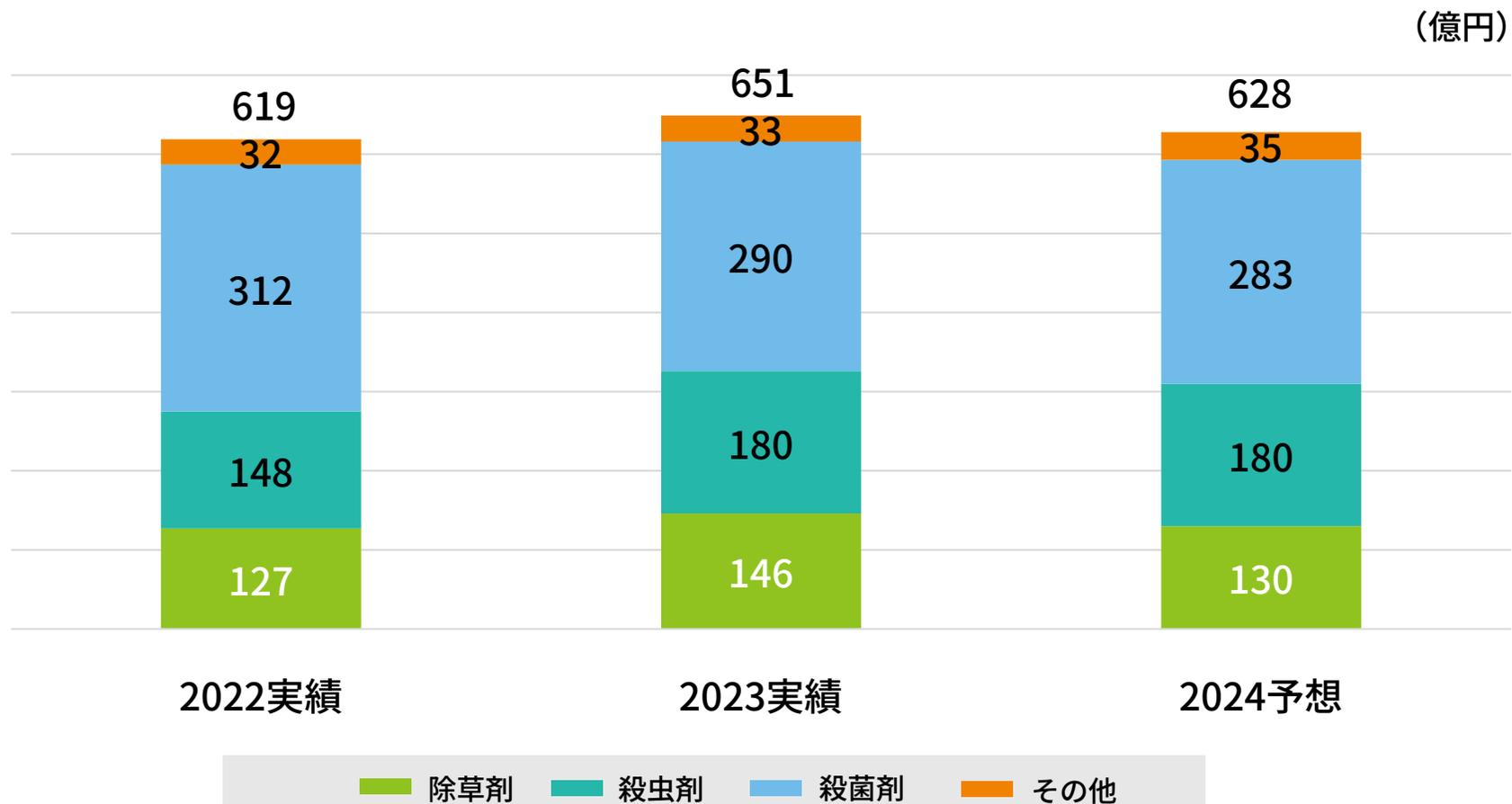
# 農薬 地域別販売計画

- ◆米州では除草剤などが減収の見通し
- ◆アジアは堅調に推移



※アジアには大洋州を含む。

# 農薬 用途別販売計画

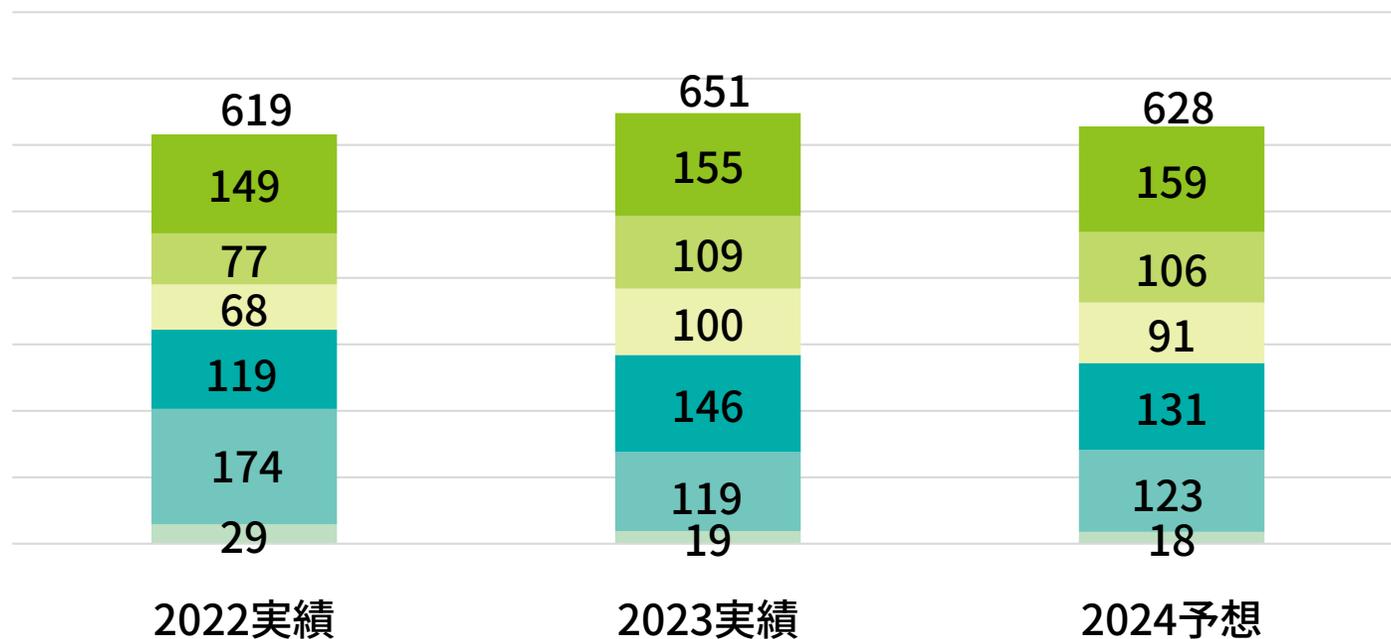


# 農薬 剤別販売計画



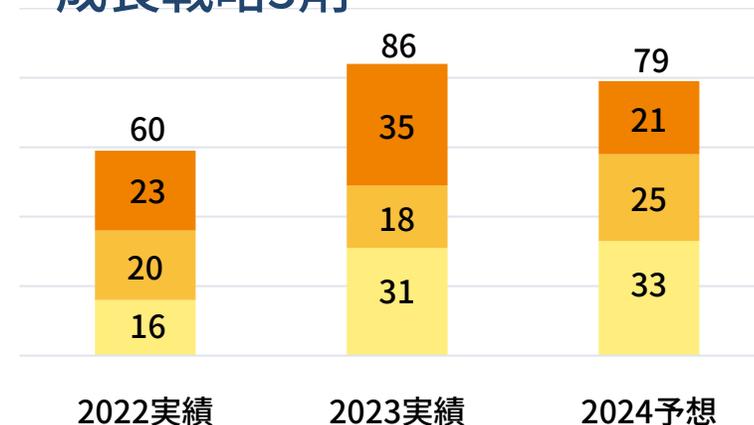
- ◆殺菌剤シアゾファミドと殺虫剤フロニカミドが欧米で減収の見通し
- ◆成長戦略3剤は、殺虫剤シクラニリプロールが伸びるものの、除草剤チアフェナシルが北米で減収の見通し

(億円)



ニコスルフロン フルアジナム シアゾファミド フロニカミド 成長戦略剤 その他

## 成長戦略3剤 (億円)

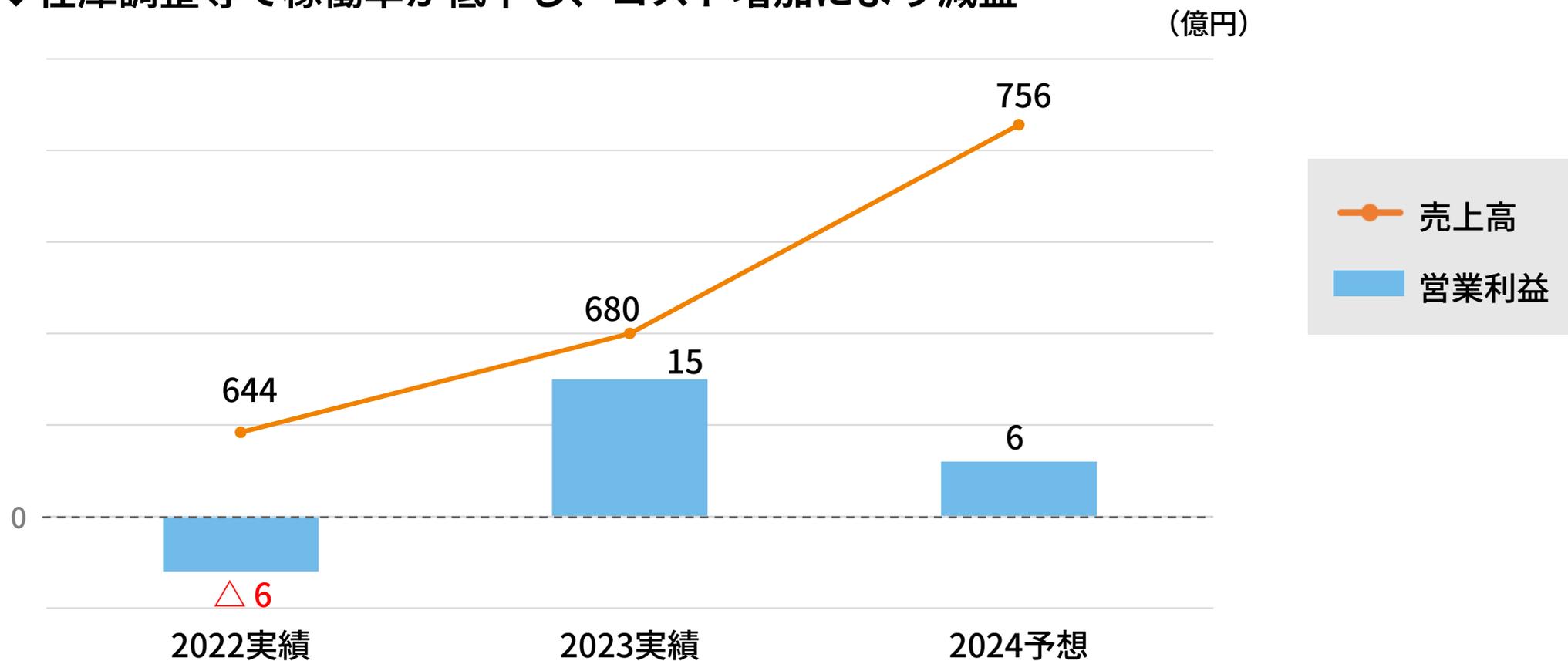


トルピラレート シクラニリプロール チアフェナシル

# 無機化学事業 業績計画

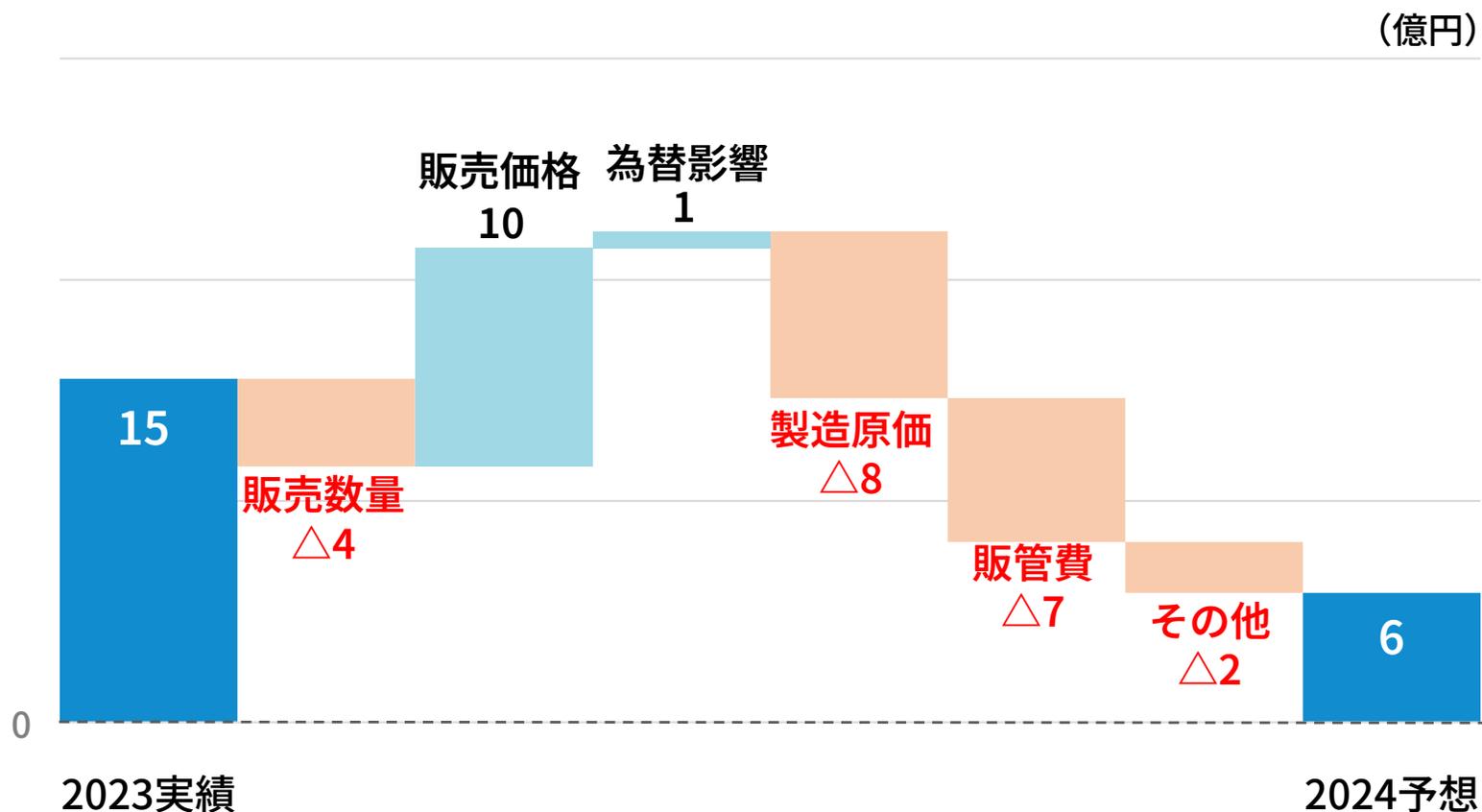
無機化学事業

- ◆機能性材料は電子部品材料が緩やかに回復する見通し
- ◆酸化チタンは自動車向けを中心に国内需要は堅調
- ◆在庫調整等で稼働率が低下し、コスト増加により減益



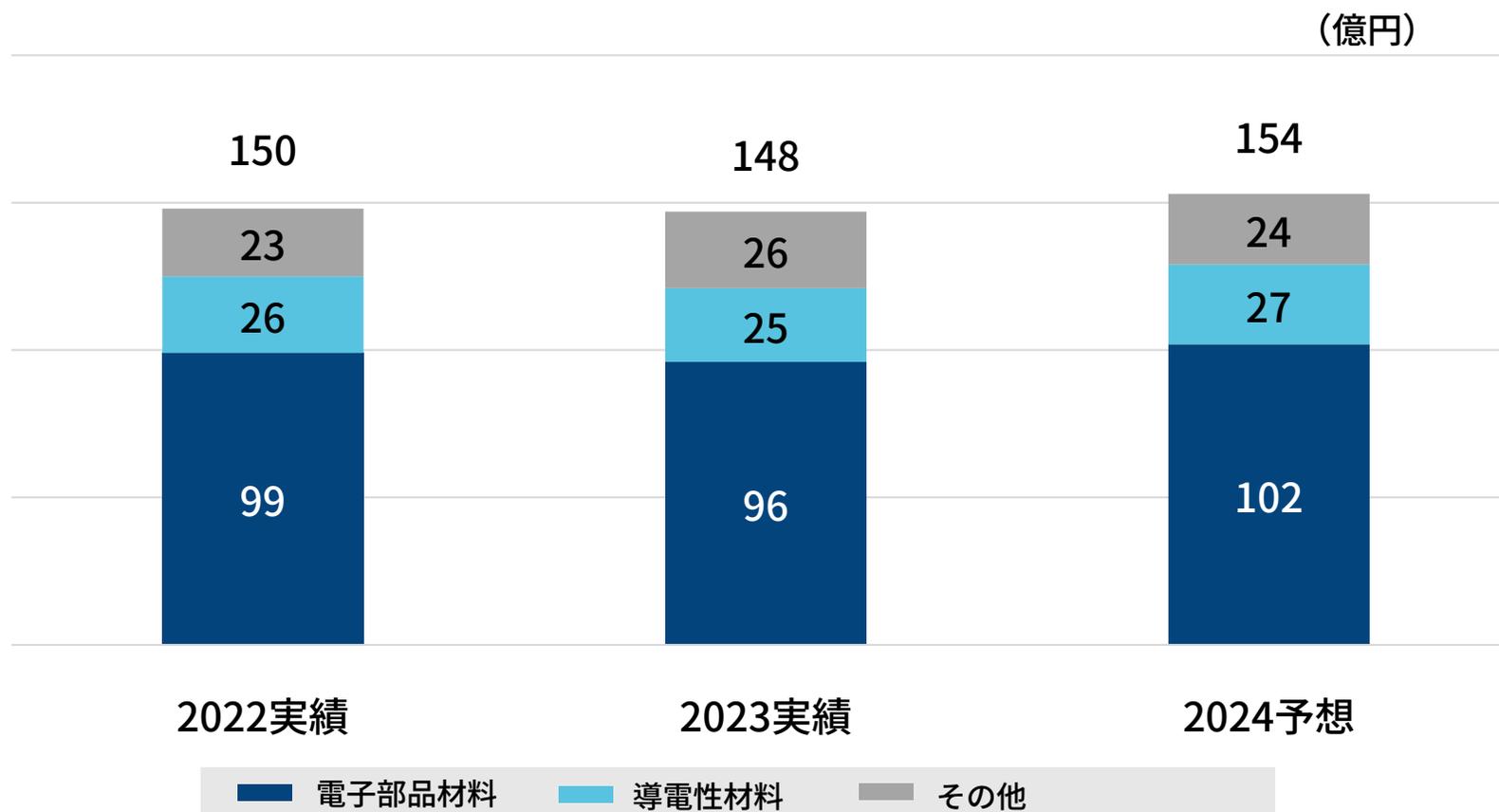
# 無機化学事業 営業利益増減要因

◆販売価格が改善するものの、コストと経費が増加することにより減益



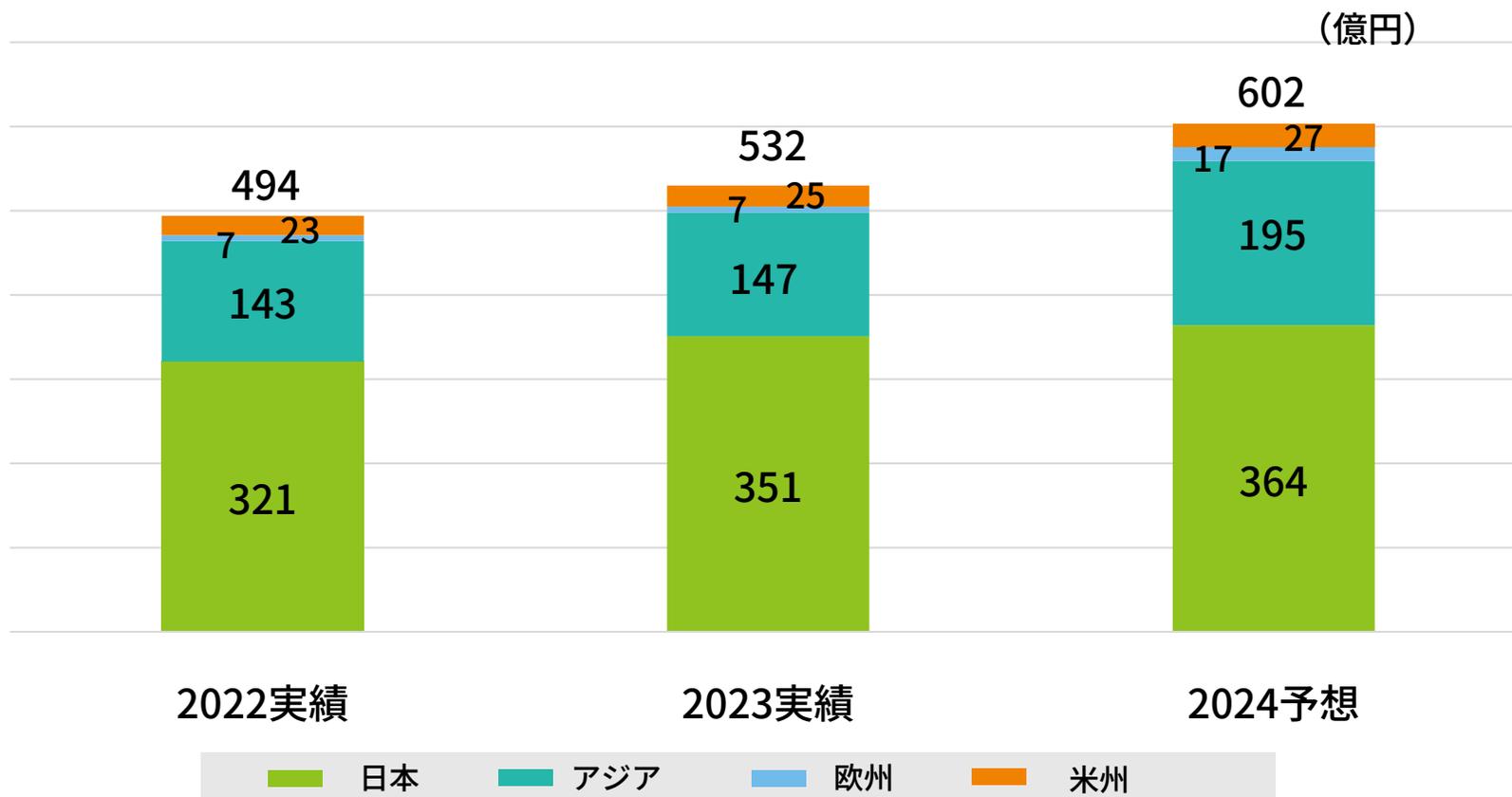
# 機能性材料 材料別販売計画

◆電子部品材料の販売が緩やかに回復する見通し



# 酸化チタン 地域別販売計画

◆国内は堅調に推移し、輸出も増加を見込む

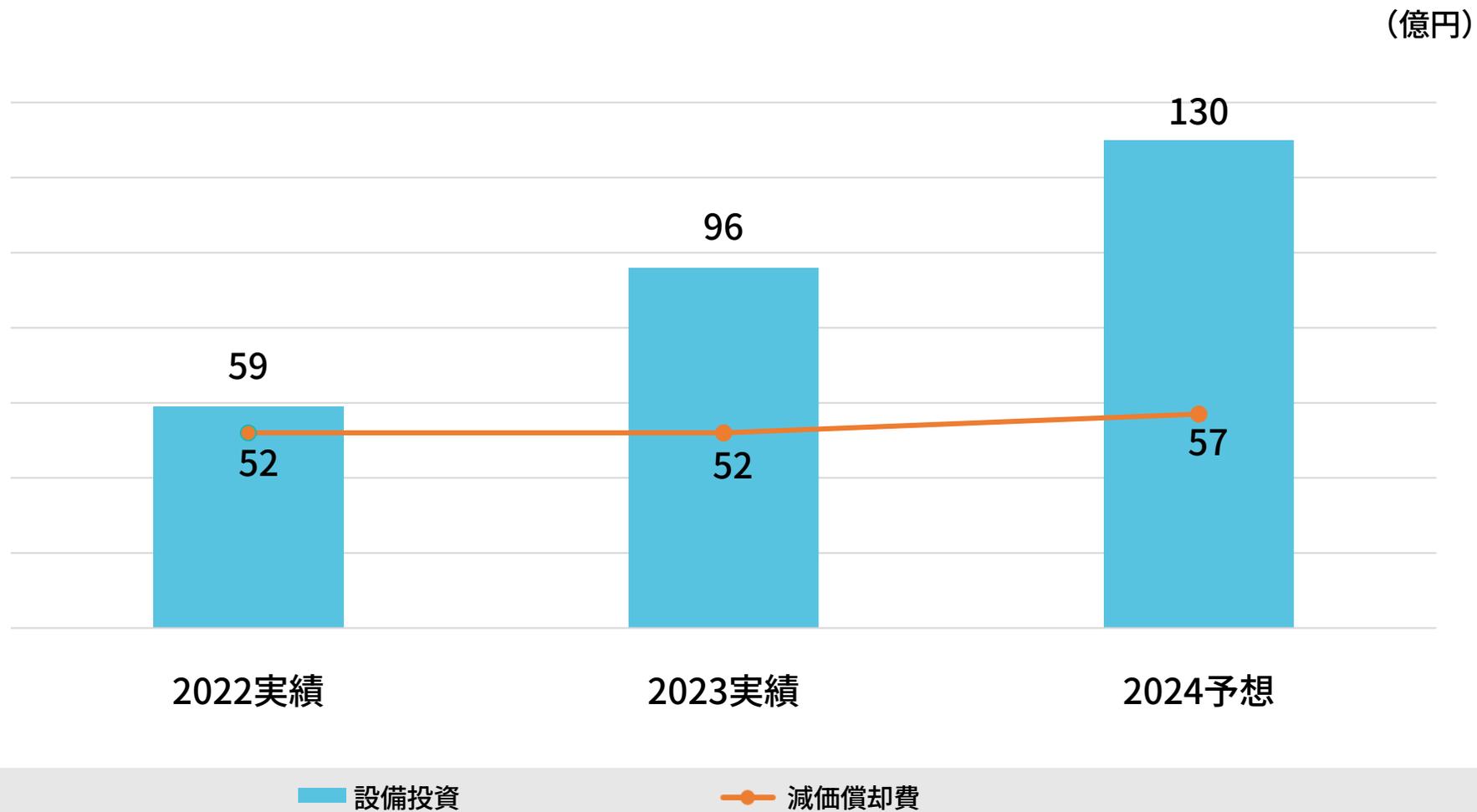


---

# 付属資料

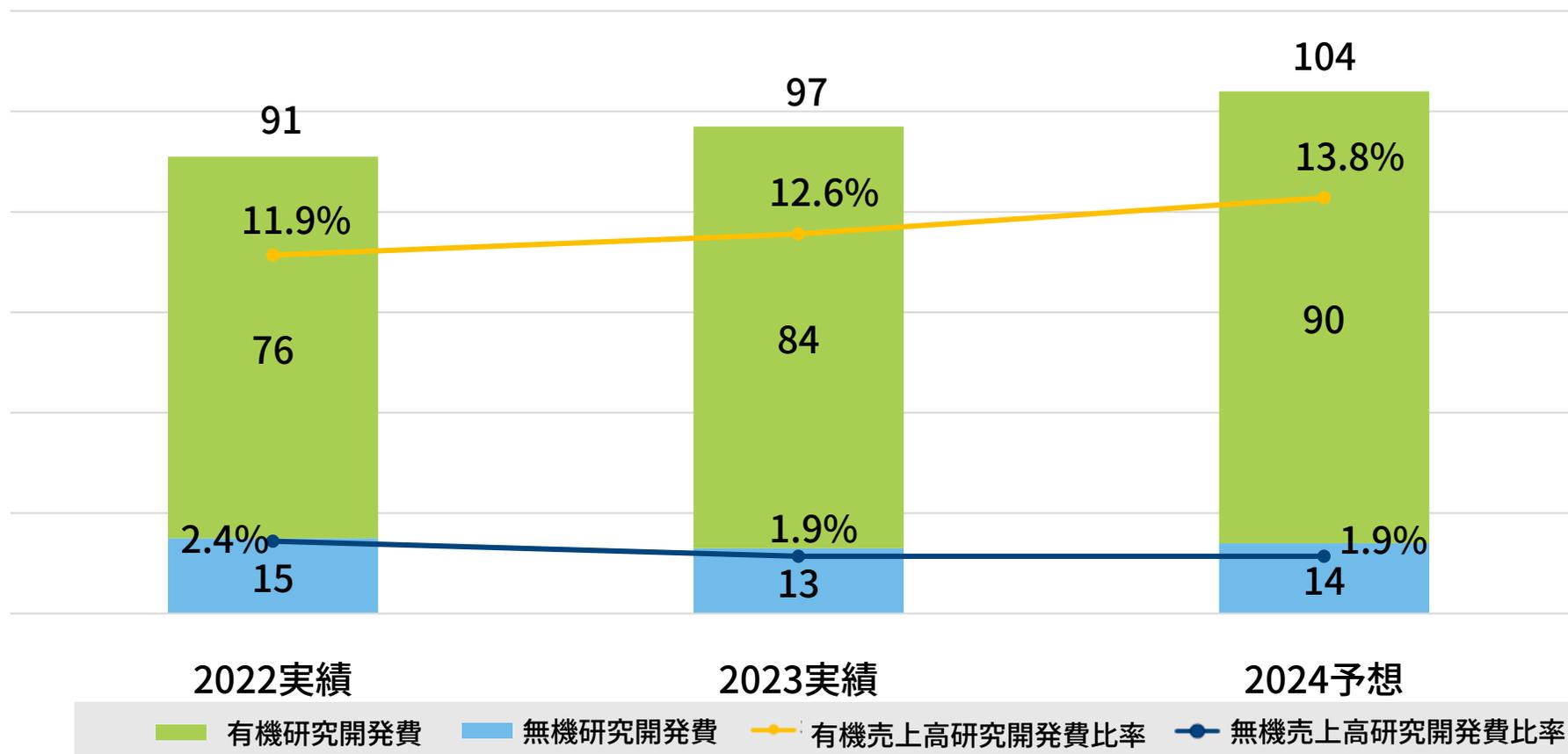
---

# 設備投資・減価償却費



# 研究開発費

(億円)

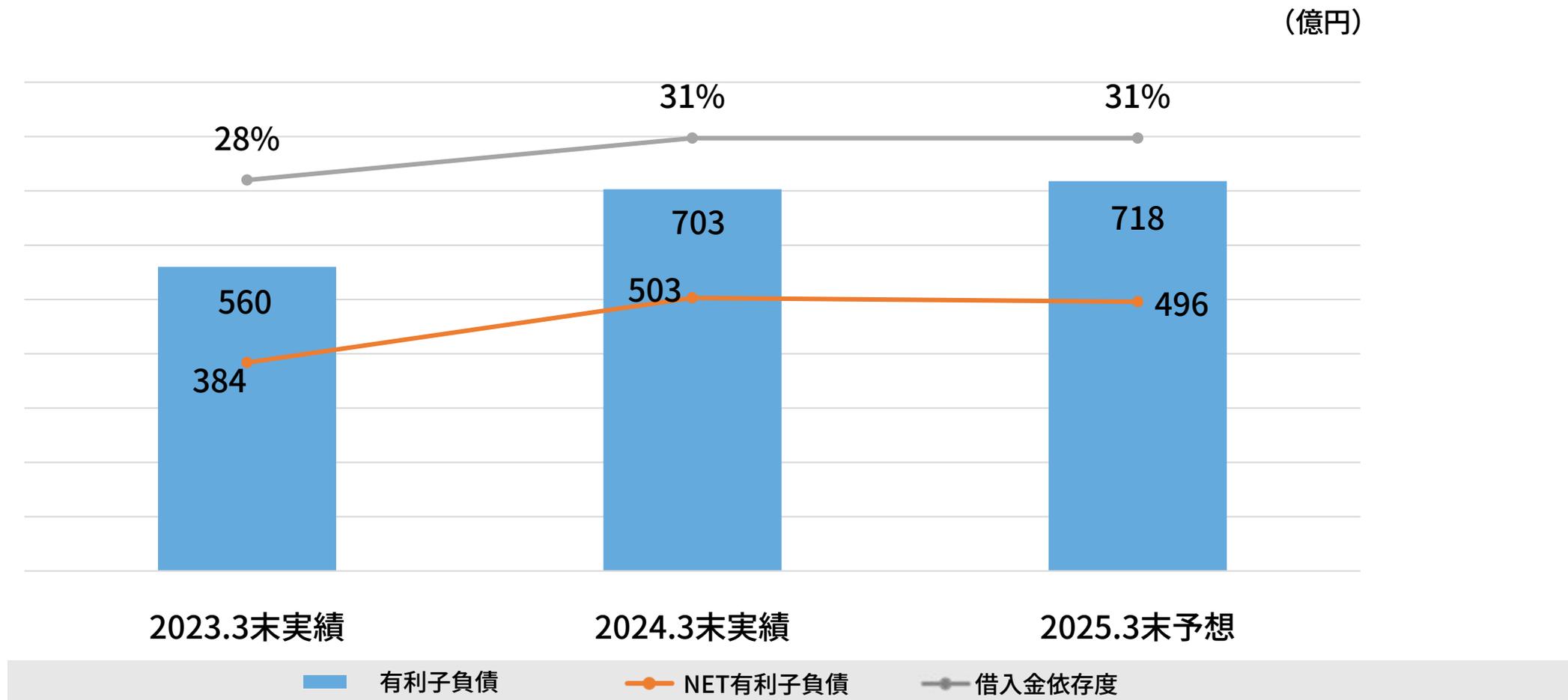


# フリー・キャッシュフロー

(億円)



# 有利子負債残高



# 完

- ・将来見通しに関わる記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料には、公表時点での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。日本及び海外の経済情勢・需要動向・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。